

星合操の
秘密の図書館

星合操



ユピテル

Jupite

王妃の不貞

いったい
誰の子を
宿した!?

まあ
何を
おっしゃいますの？

私は
あなたの
妻ですよ

妻が産むのは
夫の子と
決まっ
てお
りますわ





わしの子では
ない！

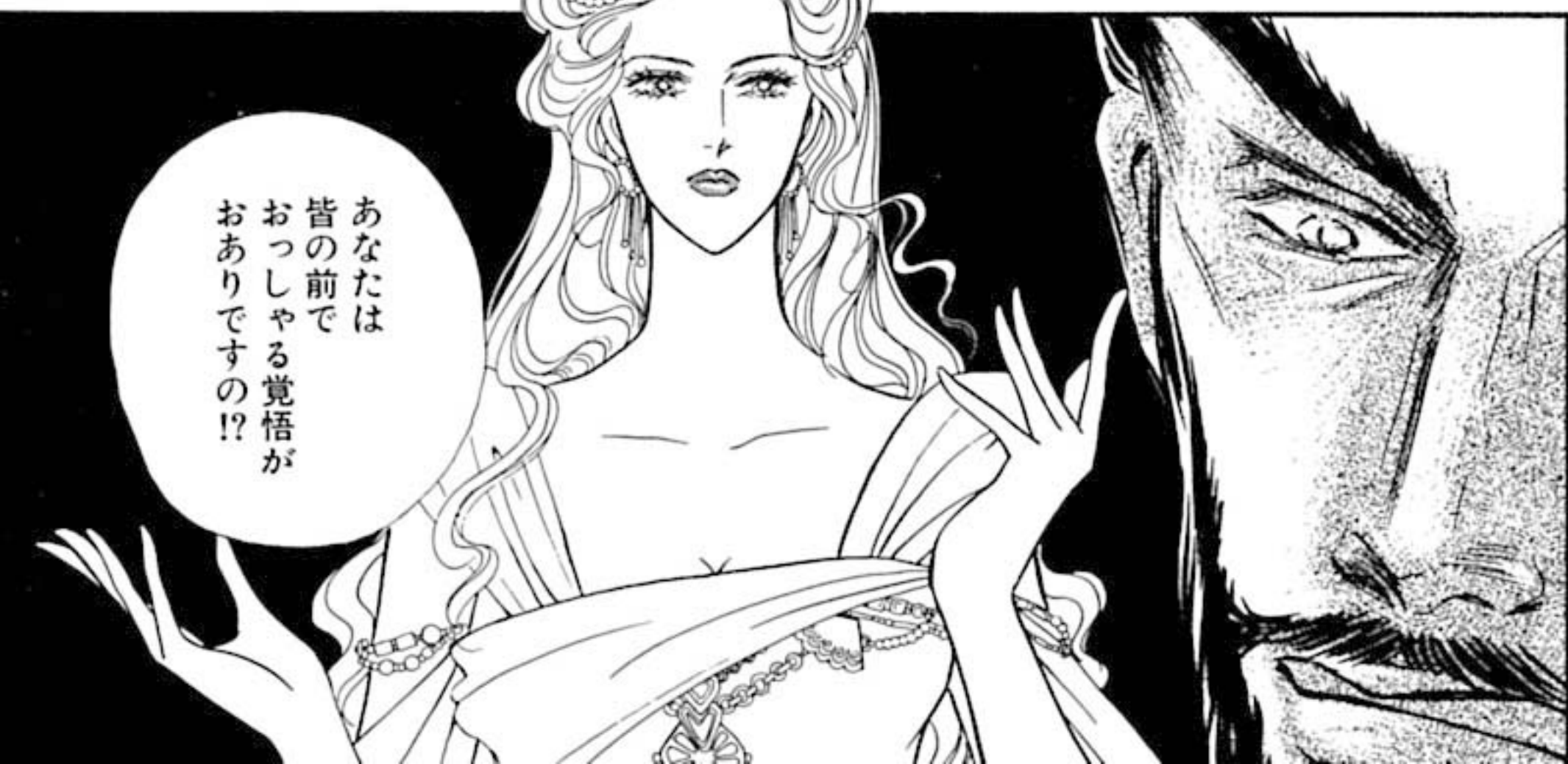


では
あなたは
それを
皆の前で
おっしゃいますか？



それ故
妃の産む子は
わしの子では
ない——と

わしは
不能だ



あなたは
皆の前で
おっしゃる覚悟が
おありですか！？



ねえ
あなた

私は
この子を
あなたのために
産んで
さしあげますのよ

世継ぎのつぐれない
あなたのために
あなたの子として
産んでさしあげる
つもりですよ

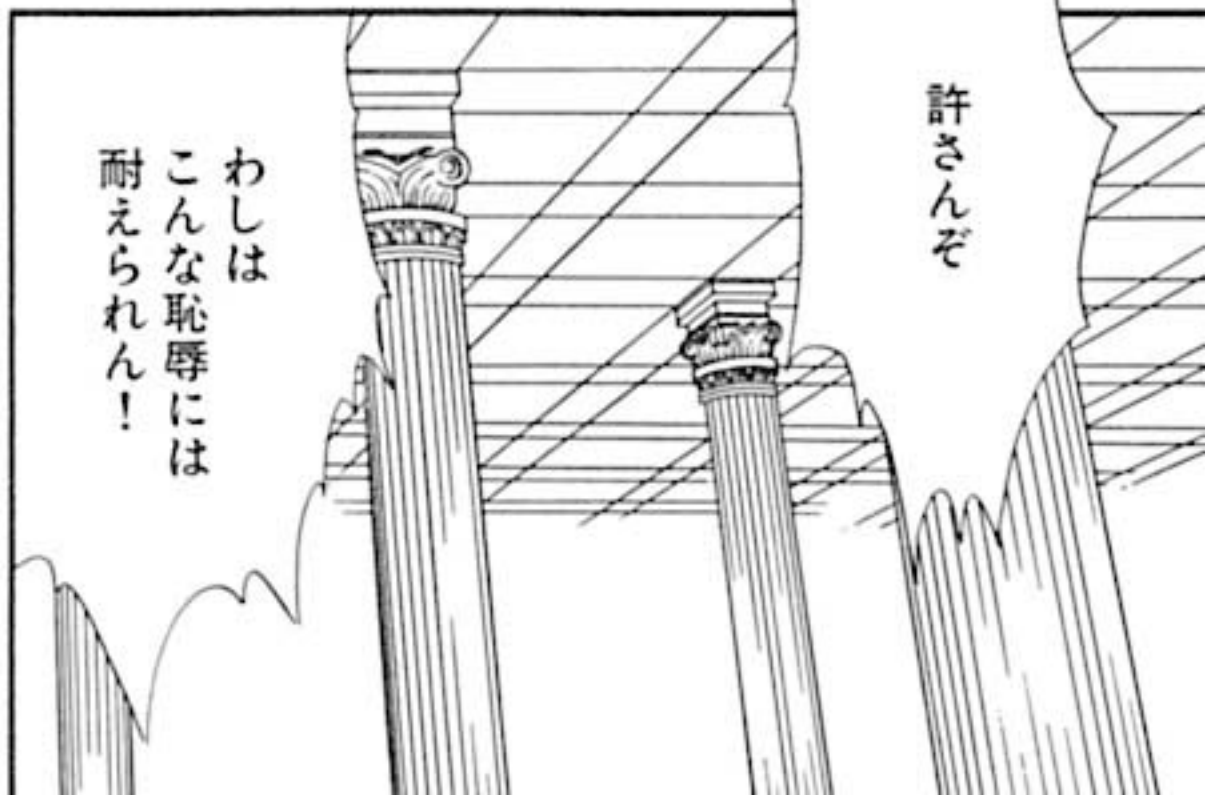


…おのれ
レダメ…

何を言うか!!



恥辱が
なんだと
言いますの



許さんぞ

わしは
こんな恥辱には
耐えられん!

王として
世継ぎを
得る事の
重大さに
比べたら

耐えがたい
恥辱など
どこに
あると言うの？

あなたが私に
与え続けた
悲しみ：屈辱
苦しみに比べたら

恥辱が
なんだと言うの！

傲慢な男の
恥辱など

エーゲの
海の果てに
捨ててやればいい！！

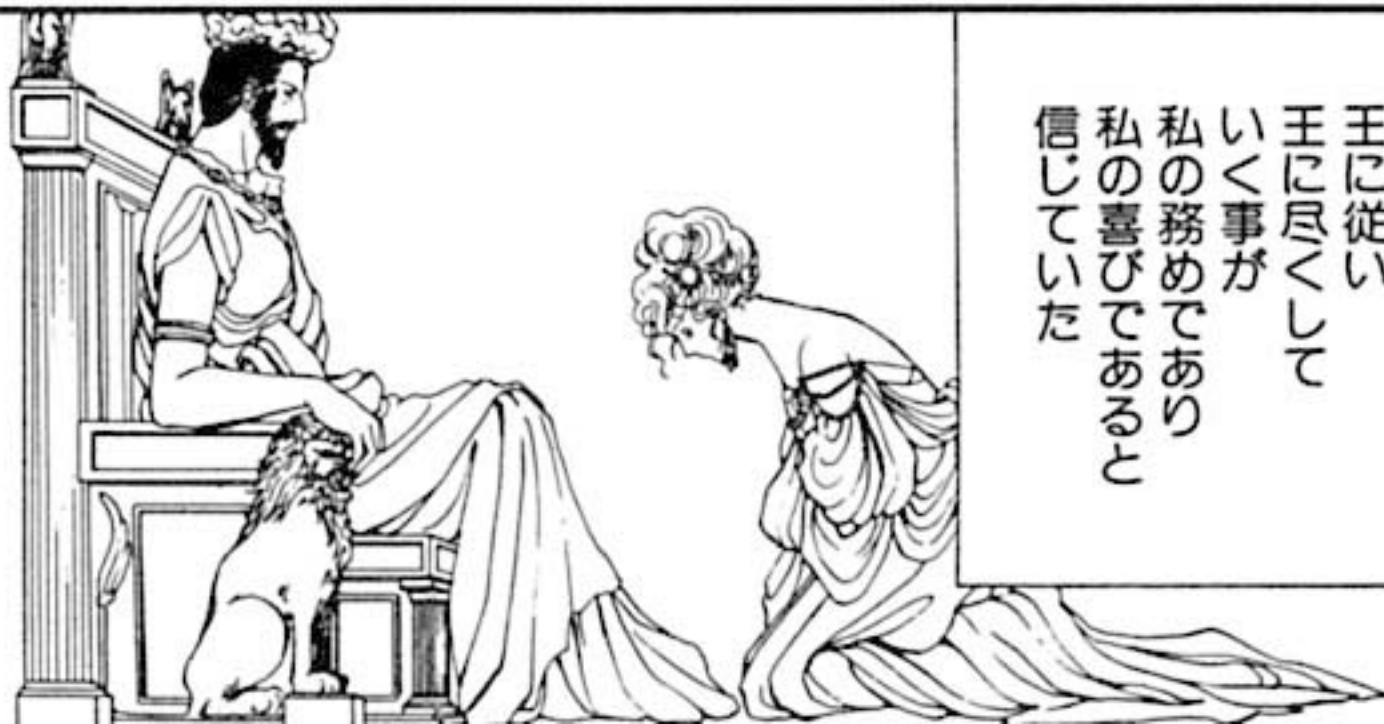
エーゲ海の
南の国
スバルタ国の
王の元に
嫁いできたのは
今から
5年も前の事

王は
私の父親程にも
年の離れた
方だった

スバルタに
平和と繁栄を
もたらした
偉大な王を
私は尊敬していた

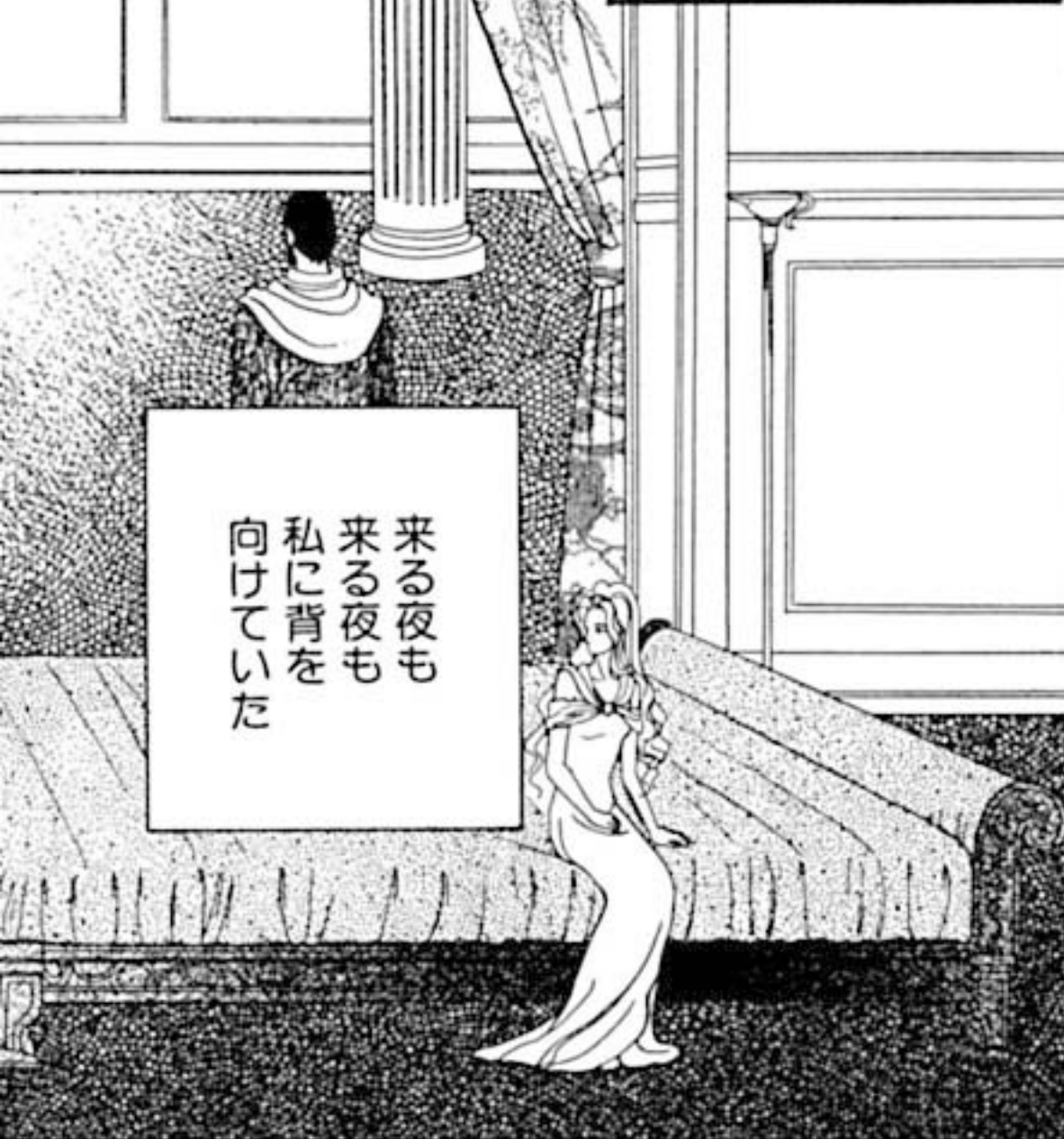


王に従い
王に尽くして
いく事が
私の務めであり
私の喜びであると
信じていた





婚礼の夜
王は私に
触れようと
しなかつた



来る夜も
来る夜も
私に背を
向けていた



けれど



なぜ…？
なぜ王は
私と
夫婦の契りを
結ぼうと
しないのだろう…!!



スバルタ国王は
若い盛りを
他国との
勢力争いに
費やしてきた

国が
おちついた今
国民の望みは
一刻も早い
世継ぎの誕生だった

国民の期待の目は
一心に
私に注がれる

私は
不安ばかりが
つづいた

王は私が
お気に召さないの
だろうか

私が何か
いたらぬ事を
したのだろうか

なぜなのか…
どうしたら
いいのか
わからない…

焦りと不安の
日々が流れた

だが
婚礼から
ひと月もすぎた
ある日

王の部屋に
こつそりと
入っていく
医者姿を
見かけた

